

会議の名称	平成27年度第2回小牧市特別職報酬等審議会
開催日時	平成28年1月12日(火) 午後2時～午後3時
開催場所	小牧市役所本庁舎4階 404会議室
出席者等	<p>【出席者】(会長)栗木 鋭三、(代理者)稲垣 喜久治、 (委員)岩田 幸恵、長田 宏、田島 亜子、丹羽 三枝子、 萩原 聡央、林 和子、水谷 幸一、村上 直之</p> <p>【事務局】伊木市長公室長、駒瀬行政経営課長、 恒川行政経営課長補佐、坪井行政経営課人事係長、 船橋行政経営課人事係主査</p>
会議傍聴者	1名
<b>会議内容【要点筆記】</b>	
行政経営課長	<p>それでは、定刻になりましたのでただいまより小牧市特別職報酬等審議会を開催します。</p> <p>本日は、お忙しいところ小牧市特別職報酬等審議会にご参会いただきまして、誠にありがとうございます。</p> <p>本日の出席状況ですが、本日は委員全員がご出席いただいております。また、傍聴者につきましては、1名となっております。</p> <p>本日は第2回目の審議会開催となりますので、闊達なご議論をお願いしたいと思います。</p> <p>それでは、今後の議事進行につきまして、栗木会長よりお願いします。</p>
会長	<p>皆さん、こんにちは。年始のご多忙の時期にお集まりいただきまして、誠にありがとうございます。</p> <p>前回、事務局から出されました資料をもとに、小牧市の特別職の報酬等のあり方について委員の皆様からそれぞれ意見を伺いました。本日は、その取りまとめに向けて委員の皆様にご協力をいただきたいと思いますのでよろしくをお願いします。</p> <p>まず、前回、話が出ました県内の市の状況について、事務局から説明をお願いします。</p>
行政経営課長	それでは、県内の市の状況について、事務局が調べた結果を報告

	<p>します。</p> <p>今年度、特別職報酬等審議会を開催する市は小牧市を除いて、21市ございます。名古屋市を除く37市中、21市が、今年度開催するとのこと。当市と同じように、審議会を行っている最中である市も多いのですが、引き上げる方向の市が6市ありました。具体的には、半田市、知多市、あま市、稲沢市、尾張旭市、日進市が引き上げる方向であるということです。また、据え置くとしている市は、12市あります。その他、引き下げが1市、未定が2市であり、今年度については、据え置きの方で進んでいる市が多いようでありました。以上です。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>事務局から県内の市の状況について説明がありましたが、ご意見・ご質問のある方はいませんか。</p>
<p>I 委員</p>	<p>今回、個人的には消費税が上がった3%くらいは引き上げるべきかと考えていましたが、今の事務局の説明を聞きますと、37市中で、今年度引き上げる市はわずかに6市であるのに対し、倍の12市が据え置きの方であるということでありました。</p> <p>前回も少し話が出ましたが、現在小牧市が置かれている状況、市民感情も考えますと、このタイミングで引き上げるというのは、やはりなかなか難しいと思います。県内の市で比較しても、それぞれの額については高い方ですし、今回は据え置きにしてはどうでしょうか。</p>
<p>G 委員</p>	<p>前回の話で、一般職の給料月額は全体では下がってきているということでした。また、前回いただいた資料を見ますと、平成23年度は一般職の給与引き下げの人事院勧告がなされる中、特別職は据え置きになっています。どういう理由からなのでしょう。</p>
<p>行政経営課長</p>	<p>当時、当審議会において議論いただいた際、据え置くべきか引き下げるべきかどうかという議論になりました。</p>

<p>会長</p>	<p>結果として、小牧市の財政状況の健全性や、特別職の職責の重さ等を考慮し、据え置くべきだという結論になりました。</p> <p>前回の審議会においては、引き上げた方が良いというご意見が多かったのですが、あれから委員の皆さんもいろいろ考えられて、また、事務局の説明も踏まえ、意見も変わった部分があるかと思いません。</p> <p>改めて全員の意見をお伺いしたいと思いますので、岩田委員から順番にご意見をお願いいたします。</p>
<p>A委員</p>	<p>私も中小企業のオーナーとして、やはり中小企業を取り巻く状況は非常に厳しいと感じています。また、中国景気の不安定な状況の中では、現状維持が良いのではないかと思います。今の円安状況がいつまでも続くとは思えませんし、今後ますます厳しい状況になると思いますので、社会経済情勢を考慮すると、据え置くべきだと思います。</p>
<p>B委員</p>	<p>平成12年度以降ずっと変わっていないことや、小牧市の財政状況等を考えると、ある程度引き上げるべきだと前回申し上げましたが、県内の市の状況や、小牧市が置かれた状況を考えますと、私も据え置くべきかと思っています。</p>
<p>C委員</p>	<p>私も稲垣委員と同意見で、やはり今の市の状況、タイミングを考えると、据え置くべきであると思います。</p>
<p>D委員</p>	<p>先ほどの事務局の説明で、6市が引き上げるとのことですが、報酬等の額を見ますと、県内でも中位、下位の市が引き上げの方向で考えていることが分かります。小牧市は県内でも上位の方ですし、据え置くのが妥当かと思っています。</p>
<p>H委員</p>	<p>県内の市の状況を聞いて、引き上げの方向が多いかと思いましたが、思ったよりも据え置く市が多いというのが正直な感想です。</p>

	<p>先ほど出ました、不安定な社会経済情勢ですとか、タイミング等も考慮すると、据え置く方が良いかと思えます。</p>
G 委員	<p>資料を見ますと、平成 21・22・23 年度と 3 年連続で、一般職に給与について引き下げの人事院勧告がなされており、その際、特別職の報酬等については引き下げを行わず、据え置きにされています。</p> <p>一般職の給料月額が下がってきていることや、県内の市の状況も踏まえますと、据え置く方が妥当かと思えます。</p>
F 委員	<p>私も前は引き上げるべきだと申し上げましたが、県内の市の状況や、タイミング等を考えると、据え置くのが良いかと思えます。</p>
E 委員	<p>職員数や議員の数を削減している状況、業務の多さ等を考えますと、引き上げることに異論はありませんし、据え置くべきという考えにも全く異論はありません。どちらが良いか悩ましい部分もありますが、一般職の給与が平成 21・22・23 年度と 3 年連続で、引き下げられており、特別職の報酬等については引き下げず、据え置きにされたことの均衡を考えると、あえて今回引き上げなくとも良いのではないかと自分なりに納得した次第です。</p> <p>1 点質問ですが、今回引き上げる 6 市について、過去に引き下げがあり、今回引き上げる等の改定の流れが分かれば教えていただきたいのですが。</p>
行政経営課長	<p>直近の改定につきまして、市長の給料月額で申し上げますと、半田市は平成 26 年 4 月に改定しており、53,000 円引き上げ、稲沢市は、平成 27 年 4 月改定で、4,000 円引き下げ、知多市は平成 24 年 4 月に改定で、5,000 円引き下げ、尾張旭市は平成 27 年 4 月改定で、5,000 円引き上げ、日進市は平成 22 年 4 月改定で、3,000 円引き下げ、あま市は平成 26 年 4 月改定で、4,000 円引き下げという状況です。それ以前の改定につきましては、手元に資料がありませんので申し訳ありません。</p>

E 委員	<p>今お聞きすると、6 市中 4 市が引き下げ改定をしており、今回引き上げても、現状維持に近いかと思えます。それも踏まえますと小牧市も据え置きというのが説得力があるかと思えます。</p>
会長	<p>今回、皆様からいただいた意見をまとめますと、据え置きという方向になっていると思えますがいかがでしょうか。ご異議はございませんでしょうか。</p> <p>～委員から「異議なし」の声～</p>
会長	<p>特に異議もないようですので、本審議会としては、特別職の報酬等について、据え置きということで答申を行いたいと思えます。</p> <p>それでは、事務局から答申書の案を示してもらおうこととしますので、ここで一時休憩とさせていただきます。</p> <p><b>【一時休憩】</b></p> <p>～答申書案の配布～</p> <p>(再開)</p>
会長	<p>それでは、ただいまより議事を再開します。</p> <p>前回と本日のご議論を踏まえまして、「据え置き」という方向でまとまりましたので、「据え置き」ということで市長へ答申を行いたいと思えます。</p> <p>つきましては、答申案について、事務局より案を配布してもらいましたので、まず事務局より説明をお願いします。</p>
行政経営課長	<p>それでは、ただいま配布いたしましたお手元の答申書案をご覧ください。</p> <p>案を読み上げさせていただきます。</p> <p>報酬及び給料月額について、市議会議員の報酬の額並びに市長、副市長及び教育長の給料の額は、いずれも現行の額とする。</p> <p>本審議会では、県内各市の人口、財政状況、特別職の報酬額等を比</p>

	<p>較検討するとともに、特別職の報酬額等及び一般職職員給与の改定状況や、社会経済情勢等を考慮しながら、各委員とも厳正、公正、中立の立場から慎重に審議を重ねた。</p> <p>審議の中では、特別職の報酬額等について、県内他市の多くが据え置く方向性であること、過去数年、一般職職員の給与引き下げ改定を行った際も、据え置きとしたこと、また、社会経済情勢が、緩やかな回復基調が続いているとはいえ、人口減少社会への突入や少子高齢化の進展等、先行きに対する不透明感を拭えない状況にあることなどを総合的に勘案した結果、現行のまま据え置きとすることが適当であるという判断に至ったものである。</p> <p>なお、特別職の報酬額等について、市の健全な財政状況や、職責の重さ、また、平成12年度以降改定されていないこと等から、一定額引き上げるべきであるという意見もあったことを申し添える。</p> <p>近年の地方分権の進展とともに、特別職の果たすべき役割及び責務は、ますます増大すると思われるが、市民から多大なる期待が寄せられていることを十分認識され、今後も市政の発展と市民サービスの向上のために、なお一層ご尽力されることを切に要望する。</p> <p>以上、答申書案の説明とさせていただきます。</p>
会長	<p>ありがとうございました。ただいま、事務局から答申案について説明がありました。当審議会で出された意見も反映されているようですが、この答申案について、意見などがあればお願いします。</p>
E委員	<p>「特別職の報酬額等について、県内他市の多くが据え置く方向性であること、過去数年、一般職職員の給与引き下げ改定を行った際も、据え置きとしたこと」の部分ですが、「過去数年」の前に「当市においては」という文言を入れた方が良いと思います。「一般職職員の給与引き下げ改定を行った際も、据え置きとした」というのが、県内他市なのか小牧市なのか分かりづらいと思いましたので。</p>
行政経営課長	<p>「過去数年」の前に「当市においては」と加えさせていただきます。</p>

会長	<p>他にご意見等ございますか。</p>
A 委員	<p>審議会の意見も十分反映されていますし、人口減少社会、少子高齢化は非常に重要な問題であると思います。それも記載されていますので良いと思います。</p>
会長	<p>それでは、ただいまお手元にあります答申書案をもって当審議会の答申としたいと思いますがよろしいでしょうか。</p> <p>～委員から「異議なし」の声～</p>
会長	<p>特に異議もないようですので、この内容で答申を行いたいと思います。</p> <p>市長への答申につきましては、会長である私が後日行いたいと思いますのでよろしくお願いします。</p> <p>以上をもちまして、特別職報酬等審議会の審議は委員の皆様の協力のもと、無事終了することができました。ありがとうございました。最後に事務局からお願いします。</p>
行政経営課長	<p>委員の皆様におかれましては、年末年始のお忙しい時期にも関わらず、2回にわたりまして、特別職の報酬につきまして熱心にご議論いただきまして、誠にありがとうございました。</p> <p>栗木会長からもお話いただきましたように、本日の答申書案をもって後日市長への答申を行っていただきます。委員の皆様へは、市長への答申書の写しを送付させていただきますのでご承知置き願います。</p> <p>以上をもちまして、小牧市特別職報酬等審議会を閉会させていただきます。本日はどうもありがとうございました。</p> <p>(閉会)</p>